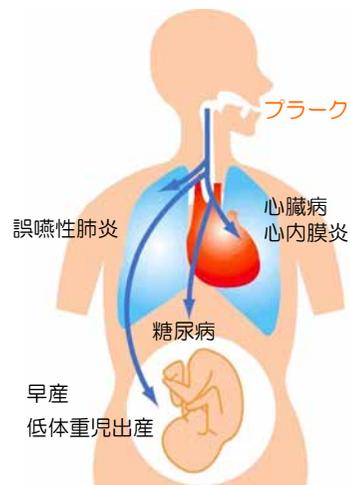


歯周病は全身の病気に関係しています

成人の80%を超える方々が歯周病にかかっています。この歯周病の原因はプラーク（細菌のかたまり）です。プラーク中の細菌が全身に運ばれ多くの病気に関わっていることが分かってきています。



歯周病の口の中



歯周病と関係のある病気

1. 肺炎

私たちの体は気管や肺に異物が入らないようになっています。しかし高齢や脳梗塞などが原因で飲み込みの機能が低下している方は、お口の中の細菌が気管を通過して肺に入り、誤嚥（ごえん）性肺炎になることがあります。

2. 血管の病気、心臓病など

お口の中の細菌が血液中に入ると動脈硬化を起こしたり、血小板が塊を作ったりして血栓を作ったりします。この血栓がはがれて心臓の血管に詰まると心筋梗塞を、脳の血管に詰まると脳梗塞を起こします。また、もともと心臓の弁に障害がある方や、人工の弁に換えている方などは心臓に炎症を起こすことがあります。

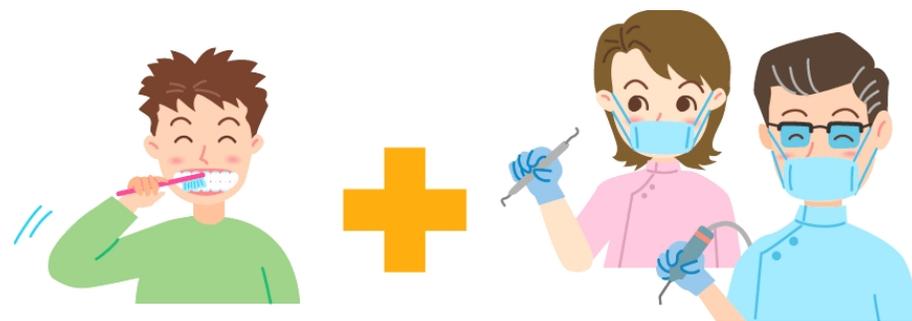
3. 糖尿病

糖尿病は血糖をコントロールするのに必要なインスリンの量が不足して起こる病気です。歯周病が重症化するとインスリンの働きが低下するため糖尿病も悪化し、逆に糖尿病が重症化すると抵抗力が低下するので歯周病の症状が悪化することがあります。

4. 早産・低体重児出産

歯周病の炎症反応で作られる物質が早産に関係することが報告されています。また、妊娠すると女性ホルモンが上昇し、歯周病の炎症を増大させると言われています。つわりがひどい方は食生活が乱れたり、歯みがきが不十分になり歯周病が悪化しやすくなるので注意が必要です。

この他にも歯周病と関係していると言われる病気が報告されています。このような全身の病気に関わっている歯周病の治療や予防のためには、原因となるプラークや歯石を取り除くことが必要です。そのためには毎日の正しいブラッシングと歯科医院での定期的なPMT C（専門家による歯面清掃）が効果的です。



毎日の正しいブラッシング

専門家による歯面清掃